

## シダレザクラ

五島美術館  
上野毛 3-9



65

樹形の美しいシダレザクラが 2 本あります。2 本分の大きな樹冠が広がり、花の時期は見事です。

五島美術館一帯は、せたがや百景に選ばれています。五島美術館の庭園も美しく、四季折々の風景を楽しめます。庭園内ではゴヨウマツ (p.37) も見るができます。

開花：3 月下旬～4 月上旬

写真：三栄造園 (株)



## シダレザクラ(群)

66

妙法寺 大蔵 5-12



枝ぶりのよいシダレザクラです。花の時期にはライトアップされ、夜桜を楽しむことができます。妙法寺の四季の風景は、地域風景資産に選ばれています。



開花：3 月下旬～4 月上旬

写真：高橋ゆき子

# お花見に行こう！

ここでは、ソメイヨシノを中心とした公園でのお花見スポットを紹介します。  
(P5、6)

(開花：3月下旬～4月上旬)

ソメイヨシノ（群）

砧6

都立砧公園 砧公園 1-1



広大な芝地が広がる公園西側のファミリーパーク内にあり、毎年多くの人々が訪れる人気のお花見スポットです。枝張りの大きなサクラが並んでいて、満開の時期には頭上いっぱい花が広がります。一面に広がる芝生の緑とサクラのピンクのコントラストは美しい景観をつくりだします。

また、砧公園全体ではヤマザクラなども含めて約840本のサクラの木があります。



写真：高橋ゆき子



## ソメイヨシノ (並木)

70

区立羽根木公園 代田 4-38



羽根木公園はウメの花に続いてサクラの花も楽しめます。サクラの並木は公園の真ん中、野球場の南側にあります。また、野球場の西側にはイチヨウ並木があり、秋には紅葉も見ることができます。



## サクラ (並木)

73

都立祖師谷公園 上祖師谷 3、4丁目



公園内を南北に流れる仙川沿いにサクラの並木があり、花吹雪が舞う様子や、花びらが水に浮かんで流れる「花筏 (はないかだ)」を楽しむことができます。西側に並ぶサクラは明治 45 (1912) 年に東京市長よりワシントン市に贈られ、ポトマック公園に植えられた日米友好のサクラをもとに育てた「里帰りの桜」として寄贈されたものです。



ソメイヨシノ

71

小川小児科医院 成城 4-4

大きく広がる枝と太い幹が立派なサクラです。特に花の時期には近くを通る人々の目を楽しませてくれています。



開花：3月下旬～4月上旬

ソメイヨシノ(並木)

74

給田西住宅 給田 4-28

集合住宅の中の並木で満開の頃には花のトンネルのようになります。区の保存並木に指定されているところや、単木で保存樹木になっている木があります。



開花：3月下旬～4月上旬



## 等々力溪谷のサクラ

**花 2**

等々力不動尊 等々力1-21



等々力不動尊の境内にある階段をおり、途中の分岐を左におりていったところにあります。ソメイヨシノが中心ですが、シダレザクラなどもあります。等々力溪谷には等々力の名前の由来となった不動の滝があり、23区内唯一である自然の溪谷美を楽しむことができます。



開花：3月下旬～4月上旬

## 二子玉川のハナミズキ

**花 3**

玉川2、3丁目



街のシンボルになっているハナミズキです。玉川高島屋SC前に植えられたものからはじまり、昭和 53（1978）年から街路樹としても植えられ、着々と増えていきました。開花にあわせ、毎年 4 月 29 日に「二子玉川花みず木フェスティバル」が開かれ、街がにぎわいます。



開花：4月上旬～5月上旬

## ソメイヨシノ

72

区立砧小学校 喜多見 6-9



区立砧小学校には百年桜と呼ばれるサクラがあります。開校百周年の頃から、そう呼ばれるようになりました。このサクラは、開校時に大蔵村（現在の  
大蔵とその周辺）から移植されたそうで、開校は明治 35（1902）年ですから、  
移植されて 120 年以上になります。

多くのソメイヨシノは 60 年ほどで枯れてしまうといわれているので、もう  
通常の 2 倍くらい長生きしていることになります。大切に育てられてきたこと  
が長生きの秘訣なのでしょう。

数年前までは大きく枝を伸ばしていましたが、長く伸びる枝は非常に重く、  
古木に負担がかかるため、現在は剪定して元気になるように見守っています。

現在もたくさん花を咲かせ、校庭で子どもたちを見守っています。



写真：区立砧小学校



## ハナミズキ

## 園 13

都立園芸高等学校 深沢 5-38



明治 45 (1912) 年、尾崎東京市長は米国に 6040 本のサクラの苗木を寄贈しました。その返礼として、大正 4 (1915) 年に 40 本のハナミズキが米国より贈られ、うち 2 本が都立園芸高等学校に植えられました。1 本は平成 8 (1996) 年に強風で倒木し、残念ながら枯死してしまいましたが、残ったこの 1 本は米国から贈られた 40 本のうち現存する唯一の木といわれています。

サクラの苗木を贈るまでには苦労もあり、明治 42 年 (1909) 年に東京市が贈ったサクラの苗木には病虫害が見つかりすぐに焼却処分されました。

明治 45 (1912) 年に無事に寄贈できた苗木は東京市が農商務省農事試験場に苗木作りを依頼したもので、その苗木づくりに携わったメンバーのひとりに東京府立園芸高校（都立園芸高等学校の前身）の校長である熊谷八十三氏がいました。

友好のサクラの苗木育成に携わった方ゆかりの地で今も友好のハナミズキが百年以上の時を経て生き続けています。



写真 8 都立園芸高等学校



# 初夏の花

木々の緑が濃くなり、さわやかな季節です。ちょっと珍しい木の花々が順に咲いていきます。



ヒトツバタゴ

砧9

都立砧公園 砧公園 1-1



なんじゃもんじゃの木と呼ばれている木のひとつです。雄花の咲く木(雄株)と両性花の咲く木(両性株)がある種類で、砧公園の木は両性株です。

花の時期には木全体が真っ白になり、初夏に積もった雪のようです。また、赤堤には雄株の木があります。(p.68)。



開花：5月

写真：高橋ゆき子